

第4回ワークショップ アンケート結果

日時：令和4年11月18日（金）19時00分から21時00分

対象：市内で働く女性会社員など 16名

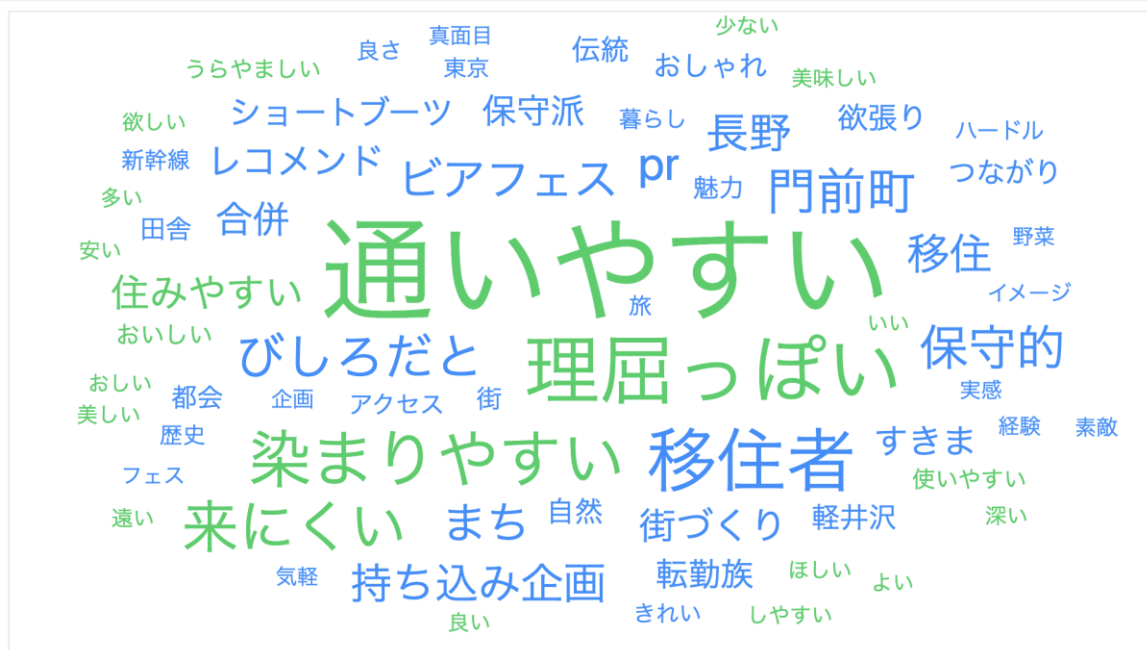
No	名前	所属
1	岡田 江里子	会社員
2	吉川 みのり	会社員
3	篠原 智美	会社員
4	栗本 京	建築家
5	清水 しおり	アロマセラピスト
6	藤原 智子	公務員
7	寺田 菜々美	会社員
8	山路 智香	会社員
9	渡部 恵	会社員
10	中野 琴恵	会社員
11	大日方 薫	会社員
12	木村 衣里	会社員
13	中込 さち子	個人事業主
14	宮下 夢美	市職員
15	徳永 志保	市職員
16	名取 里夏	市職員

キーワード

市民性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所のつながりがある（雪かきなど）</li> <li>・おすそ分け</li> <li>・保守的な価値観（イメージチェンジのポテンシャルあり）</li> <li>・無難（ショートブーツが象徴的）</li> <li>・若者におしゃれセンスがある</li> <li>・真面目で理屈っぽい</li> <li>・染まりやすい（マジョリティになれるポテンシャルあり）</li> <li>・実は頑張っている若者が多い</li> <li>・良質なものを求める</li> <li>・人見知り（もっとオープンになれるポテンシャルあり）</li> </ul>
-----	--

歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統的</li> <li>・ 昔ながらの「家」を守っている</li> <li>・ 合併で多様性（個性）がある反面で魅力が薄れがち</li> <li>・ 善光寺門前</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都会との距離感がちょうどいい （アクセスがよく魅力を伝えるチャンス）</li> <li>・ 自然や空気がきれい</li> <li>・ 山のある自然（きれいでスケールがあり自慢できる）</li> <li>・ 生活に困らない便利な田舎まち</li> <li>・ 東京が近く生活のアップデートがしやすい</li> <li>・ いろいろなモノやコトを欲張れる</li> <li>・ 都会と田舎暮らしの両実現</li> <li>・ 物価が東京に比べて安い</li> <li>・ あらゆるスペースが広い</li> <li>・ すきまがある（完成され過ぎず小さく始められる）</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新幹線（値段は高い）</li> <li>・ 山や湖へのハブ都市</li> </ul>
食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内向きなイメージとしてのりんご（外向けにはあまり）</li> <li>・ 野菜が新鮮</li> <li>・ お米がおいしい</li> <li>・ お酒美味</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果物の美味しさやこだわりのPR 大事</li> </ul>

### キーワードの分析



他の市町村とは一味違った地域をつくるために、今後どのように「長野市らしさ」を活かすことが重要だと思いますか？

- ・新幹線で東京が近いメリットを活かして気軽さ、来やすさをつくる（料金面でも）
- ・ブランドをPRする
- ・「人のつながり」を特徴的に捉える
- ・長野市のいいところを経験してもらう
- ・理屈っぽさの気質を逆手にとった論戦企画
- ・交通ハブを活かした旅の拠点整備（全国、県内ともに）
- ・魅力を感じ自分たちで発信する積極性
- ・つままない市民性の打破
- ・門前町ならではの魅力の創出
- ・軽井沢に負けないおしゃれな街づくり
- ・「田舎」ではなく、「都心から近い自然の多い自慢地域」への一般認識の変化
- ・お酒フェアの積極開催
- ・転勤族が多いため、そのケアが大事

その未来に必要なヒト、モノ、コト

- ・移住者交流会、移住者にPR大使任命、移住者案内人
- ・おためし移住用住宅、季節ごと移住体験コース
- ・東京への行き来に補助等支援を行い、通いやすさをPRする。逆に東京を使うというマインドの切り替えを促す。（お得な新幹線定期券、回数券など）
- ・新しいアイデアについて勇気を持って提案する人を応援する空気（若者を応援する）
- ・かわいい長野市らしいお土産
- ・ワークショップ企画マンの増員
- ・人のネットワークがつくれる場の提供、つながる機会の創出
- ・リノベーションを支える人材と提供する人
- ・マルシェなど人が多く集まれるイベントの企画
- ・おしゃれなものを増やし、若者を増やす

その未来が実現したら、様々な人が「長野市って〇〇なまちだね」と言っています。なんて呼ばれていると思いますか？

- ・ちょうどいいまち
- ・一番身近に移住できるまち
- ・気軽なまち
- ・人が穏やかで住みやすいまち
- ・移住者に理解あるまち
- ・挑戦できるまち
- ・支えてくれるまち

- ・旅の聖地、旅がしたくなるまち
- ・おしゃれなまち
- ・気軽に田舎を実感できるまち
- ・選択しやすい（贅沢な）まち
- ・依存せずにつながり、自分らしく生きられるまち
- ・伝統と歴史を大切にしているが（決して新しくないが）イケてるまち
- ・活発でいきいきしているまち
- ・気付けば住んでいたまち
- ・すてきなおいしいまち
- ・東京が使いやすい（通いやすい）まち